



食でつながる！笑顔と健康



本市では、「神戸市食育推進計画(第3次)」(平成28年度～令和3年8月)に基づき様々な取組を実施してきました。しかしながら、市民の食をめぐる課題は依然として続いており、今後も、生涯を通じた健全な食生活の実践にむけた取組が必要です。また、健全な食生活の基盤となる食環境は、地産地消や食品ロス削減、食文化の継承等の取組により持続可能となります。この他、「新しい生活様式」や「社会のデジタル化」も踏まえ、さらなる食育の推進を目指すために、「神戸市食育推進計画(第4次)」を策定します。

## 神戸市の食をめぐる現状

市民の食育に関するアンケート調査(R1・2年度)より

### 課題

- 若者の朝食欠食
- 主食・主菜・副菜がそろっていない
- 食品ロス
- 野菜の摂取不足
- 孤食
- 高齢者の低栄養

### 市民の関心

- 食育イベント
- 食品ロス
- 学校給食
- 地産地消

## 市民を支える食育関係部局のビジョン

### 目指す姿

### 取組の方向性

### 主体となる部局

### 視点

### 具体的取組

計画期間に関わらず成果・社会情勢・市民ニーズに応じて見直すことがあります

### 基本理念

「食を大切に自然に恵まれた環境と国際色豊かな神戸の特性を活かし、市民が「食を楽しむ」

### 市民

食を楽しむことができる

食を大切にできる

食で健康をつくることができる

## I 健康なからだ豊かなところをつくる食育の推進

- 生涯を通じた健全な食生活の実践を支援します
  - 健康局
  - こども家庭局
  - 教育委員会
- 保育所、幼稚園、学校等で食を通じた健全育成に取り組めます
  - こども家庭局
  - 教育委員会
- 食べものを大切にする気持ちを育みます
  - こども家庭局
  - 環境局
  - 経済観光局
  - 教育委員会

## II こうべの自然の恵みと食文化を伝える食育の推進

- 「食都神戸」事業における地産地消の推進を図ります
  - 経済観光局
  - 教育委員会
- 郷土料理や行事食などの食文化を継承します
  - こども家庭局
  - 経済観光局
  - 教育委員会

## III 食の安全・安心の確保

- 食の安全・安心についての知識を広め、リスクコミュニケーションの推進を図ります
  - 健康局
- 安全・安心な農産物生産の取組拡大を目指します
  - 経済観光局
  - 教育委員会
- 「食を選択する力」を身に付けるための情報発信を図ります
  - 健康局
  - 経済観光局

## IV 食育推進運動と連携・協力体制の強化

- 全市一体となった食育推進運動を展開します
  - 各部局
  - 区役所
- 食品関連事業者等との連携による食環境づくりを推進します
  - 健康局
  - 経済観光局
- デジタル(オンライン)を活用した食育情報を発信します
  - 健康局



生涯を通じた心身の健康を支えるための食育

持続可能な食を支えるための食育

「新しい生活様式」やデジタル化に対応した食育の推進

## 関係機関・団体・地域における取組

### 行政における取組

- ◆ライフステージに合わせた食育講座
- ◆産学官連携による若い世代への朝食欠食率改善の取組
- ◆歯科口腔保健の取組
- ◆こどもの居場所づくりでの食事提供
- ◆食に関する指導の全体計画と栄養教諭による食に関する指導
- ◆農作物を育てる体験学習
- ◆保育所、幼稚園、学校等での食事の提供を通じた各種取組
- ◆「KOBEストップthe食品ロス」運動 等

- ◆神戸産農水産物の購入できるアクセスポイントの拡充(ファーマーズマーケット等)
- ◆農漁業体験機会の創出
- ◆KOBE「にさんがろく」PROJECT等食育プログラム実施
- ◆「こうべ給食畑」推進事業 等

- ◆食の安全・安心パトロール
- ◆新しい生活様式に対応した出前・デリバリー実施、利用時の衛生管理啓発
- ◆食物アレルギー対策の推進(飲食店への食物アレルギー表示促進、災害時等に備えた家庭での食料備蓄の促進)
- ◆「こうべ旬菜」、「こうべ版GAP」の普及推進
- ◆食品の表示に関する正しい知識の普及啓発 等

- ◆こうべ食育フェア(新しい生活様式対応)
- ◆神戸流通活性化推進事業
- ◆アプリやSNSを活用した啓発
- ◆レシピ動画配信 等

### 市民の取組

- 毎日朝食を食べる
- 栄養バランスを考えて食べる
- 塩分のとり過ぎに気をつける
- ひとくち30回以上かむ
- 買すぎない、残さず食べる(食べ物を無駄にしない)
- 食事のあいさつをする
- 家族や仲間と一緒に食事をする
- 食事や運動に気をつけて健康的な体重を維持する
- 料理を作る
- 地元の農水産物を買うようにする
- 野菜の栽培・収穫や農漁業体験をする
- 行事食や郷土料理を知っている
- おはしの持ち方など食事マナーに気をつける
- 災害時等に備え、家庭に食料・飲料を備蓄しておく
- 外食時や食品を買うときに「食品表示」を確認する
- 食に関わるイベントに参加する

## モニタリング指標【現状値】

朝食欠食者の割合	小学5年生 5.5%	中学2年生 7.6%	20歳代男性 24%	女性 24.8%	30歳代男性 24.4%	女性 12.8%
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	20歳代男性 32.9%	女性 24.2%	30歳代男性 44.2%	女性 34.3%		
ゆっくりよくかんで食べる人の割合	39.5%					
「保育所における食事の提供ガイドラインに基づくチェックリスト」を活用する施設の割合	81.8%					
「家族や友人と食卓を囲む」ことに取り組む人の割合	45.6%					
自分が出す食品ロスを減らしたい人の割合(うち強く減らしたい人の割合)	79.4%	(40.9%)				
ローカルフードへのアクセス機会と参加者数	250回、	9.7万人/年間				
「農」に関する体験、活動を行う市民	5.8万人/年間					
地域食材の利用を意識している市民・事業者の割合	33%					
「食品の安全性への理解」を深めることに取り組む人の割合	44.5%					
こうべ版GAPの取組農家数	460人					
家に食料・飲料備蓄をしている人の割合	食料 52.5%	飲料 61.9%				
食育に関心を持っている人の割合	67.5%					
神戸市で開催された食育の取組に参加したことがある人の割合	—					

# ライフステージに応じた食育の取組

6月は「食育月間」19日は「食育の日」  
食育情報はこちらに掲載しています



KOBE  
UNESCO City of Design

ライフステージ	0歳～	小学生～	18歳ごろ～	40歳ごろ～	65歳ごろ～	75歳ごろ～
<b>目標</b>	食習慣の基礎を身に付け、食べる意欲を育てる	<b>小学生</b> 健全な食習慣を確立し、食の学習と体験を通して食の大切さを理解する	<b>中学・高校生等</b> 自立した食生活を実践できる力を育てる	食に関する知識や技術を生かし、自己管理する力を高める	生活習慣を見直すなど健康管理に努め、健全な食生活を実践する	健康を維持し、豊かな食経験を次世代に伝える
<b>主な食育の取組</b>	離乳食の作り方講座  保育所、幼稚園、学校等における食事提供を通じた各種取組	食に関する指導  産学官連携による取組 (朝ごはんを食べようキャンペーン(小学生・若い世代対象)、KOBE野菜を食べようキャンペーン)	KOBE“にさんがろく”PROJECT (神戸産の農水産物を素材とした新たなものづくり)  プレパママ食育講座  産学官連携による取組 (朝ごはんを食べようキャンペーン(小学生・若い世代対象)、KOBE野菜を食べようキャンペーン)	大人の食育セミナー(生活習慣病発症予防、低栄養予防のための食生活)  フレイル予防のための個別支援・講座(低栄養、オーラルフレイル)  従業員食堂への給食施設指導  ふれあい給食会・ふれあいサロン等 	子どものための食育セミナー(乳幼児期の食生活)  地域子育て支援センターでの食育体験  食育セミナー(学童期)  食育ミニ講座(地域における学習支援事業での調理実習・試食・講話)  「こうべ給食畑」推進事業(学校給食における神戸産農水産物の利用拡大)  乳幼児健康診査での栄養相談、歯科相談  保育所、幼稚園等におけるフッ化物洗口 歯の健康サポーターによる健康教育  学校における歯科保健活動  妊婦歯科健診における歯科保健指導  歯周病検診  オーラルフレイル対策  後期高齢者(75歳)歯科健診における歯科保健指導  「MY CONDITION KOBE」健康診断の結果や歩数、食事などの健康情報を記録。神戸市民が利用できる健康アプリ。  「3オンザライス」主菜・副菜・生野菜の3つをごはんの上のせるだけの簡単レシピ。  エシカル消費の普及啓発(出前講座や消費生活講座)  「エシカル消費」倫理的消費。地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと。  食の安全・安心パトロール、出前・デリバリー利用時の衛生管理啓発、食品の安全性(食中毒等)や栄養成分表示に関する出前トーク  「KOBEストップthe食品ロス」運動(フードドライブや食品ロスダイアリーの啓発)  神戸産農水産物の購入できるアクセスポイントの拡充(ファーマーズマーケット等)、地場産食材への関心を高める取組(農漁業体験等)、「こうべ旬菜」「こうべ版GAP」の普及推進  「こうべ旬菜」人と環境に配慮して、神戸で栽培された野菜。化学肥料や化学合成農薬の使用を通常栽培よりも減らして栽培。  「こうべ版GAP」土づくりから出荷までの農業生産工程を生産者自らが記録し、それが適正に実施されているかどうかを生産者自らがチェックする取組。  食物アレルギー対策の推進(飲食店への食物アレルギー表示促進、災害時等に備えた家庭での食料備蓄の促進(特に、乳幼児や食物アレルギーをもつ家庭)等)  こうべ食育フェア、神戸流通活性化推進事業(鮮魚、野菜、果実の流通活性化。毎月8日「やさいの日」・「おやつ(果物)の日」、10日「とと(魚)の日」に特売実施等。) 	
	健康なからだと豊かなところをつくる食育	こうべの自然の恵みと食文化を伝える食育	食の安全・安心の確保	食育推進運動と連携・協力体制の強化	令和3年9月発行 神戸市広報印刷物 令和3年度 第128号(広報印刷物規格B-1類)	リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。